

2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	川辺地区まちづくり推進協議会
活動テーマ	真備町川辺地区復旧・復興に向けたまちづくり事業



災害前の活動を再開したことで参加者が、お互いふれあい話ができるなどコミュニティの形成ができた。

コロナ禍で活動ができない中でもできる範囲の活動を行い、広報誌「虹の橋」を毎月発行し地域の人に届けることで、川辺地区の元気な姿を伝え、川辺に帰りたいという気持ちを持った。令和 3 年度の届け出によると川辺地区まちづくり推進協議会の加入世帯が、川辺地区に戻ってきた割合は90%となり戻りたいと考えている人の多くは、戻ってきていることが確認できた。

アンケートによると、住民の 60%近くが川辺地区に戻ってきて心配なこととして、再び同じような災害が発生するのではないかと思っていること。小田川の付け替え工事が完了しても安心して生活できるか不安に思っている。また避難する仕組みづくりなどを早期に作る必要があると考えている人は50%を超えている。まちづくりではこれらを参考に、避難する仕組みづくりや川辺地区の地区防災などを進めていく考えだ。

多くの住民は人々が集えるイベントの開催を希望しており、災害により今までまちづくりで持っていた備品がすべてなくなり、開催が危ぶまれたが、助成金のおかげで再整備することが出来た。これからイベントの継続が可能となり、地域の人が求めている人々が集うことのできる行事の開催が可能となった。今後、住民同士の交流の場ができることで、そこから住民同士の支え合いの気持ち生まれ、以前にも増して住みよいまちづくりが推進できるよう努力したい。